

平成28年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月17日（火）午後7時～午後8時55分
□会 場	英比小学校体育館
□参加者	町側10人、地区側26人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ（他公務のため順番変更）

同主旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

3. 懇談会テーマと質問事項等についての主旨要約

①高齢者と地域のつながり

配布資料に基づき民生部長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（1）懇談会について、今年から2つのテーマに絞ったとのことですが、その理由を教えてください。また、先ほど議事録作成のために録音すると言っていましたが、平成27年度は議事録を作成しましたか。（高根台）

答）議事録については毎年作成し、ホームページや政策協働課の窓口でご覧いただくことができます。また、行政協力員会でも配布させていただいたので、地区にも保管されていると思います。

テーマを絞った理由ですが、未来づくり懇談会について、時期やあり方を変えた方がいいのではという意見が地区からありました。昨年度検討した中で、テーマ型がいいのではという意見が地区から多くあったため、町からテーマを発信させていただいて実施することとなりました。（政策協働課長）

関連質問）テーマは行政協力員会などで決めたのですか。（高根台）

答）テーマについて地区からさまざまな意見をいただき、町で検討させていただいた結果、今年度は皆さんに身近なテーマとさせていただきました。（政策協働課長）

質問（2）地区でサロン活動をやったらどうかという意見があり、会員にアンケートをとったところ60人ぐらいが出席してみたいという回答でした。そのため、昨年度試験的に実施し、皆さんに喜んでいただけました。補助金が3万円あり、コーヒー1杯100円でも十分採算がとれるため、新年度でも実施する予定だったのですが、中止の方向です。理由は、補助金の使途が限定されているためです。使途を限定することは誰が決めたのですか。

また、サロン活動を推奨するという事なら、用途を限定せずに補助金を出し、知恵を絞りながらやりたい活動を活発に行ってもらう方が効果的であるため、制度を改善してもらえませんか。（板山）

答）サロン活動は、いきいきクラブが実施している友愛活動の一環で、いきいきクラブ連合会からの助成制度があります。活動には3種類あり、友愛訪問・サロン活動・独自（助け合い）活動です。1事業3万円で最大6万円が助成されます。サロン活動でコーヒーしか買ってはいけないということはないと思うので、事務局である社会福祉協議会に確認させていただきます。また、助成金の用途は、いきいきクラブ連合会で取り決めをして、皆さんの承諾の上で決めています。（民生部長）

関連質問）「連合会で決めている」ではなく、「思うような活動ができるように調整してみます」という回答をしてもらわないと、町には関係ないような感じがして、話をしていても用をなさない気がします。（板山）

答）連合会に確認し、幅広く使うことができないか検討します。（副町長）

質問（3）昨年2月に、高齢者と弱者の6年計画のパンフレットが全戸配布されました。高根台は昨年7月に、事務局と社会福祉協議会が説明に来ました。計画は前期と後期の3年ごとで進められると思いますが、予定通り進んでいますか、また体制はできているのですか。（高根台）

答）ご質問の計画は「阿久比町地域福祉計画」で、平成27年度から平成32年度までの6年間で計画期間となっており、担当者が各地区で説明させていただきました。基本目標は「みんなつながって、孤立をなくそう。」「みんなつながって、交流や支え合い活動に参加しよう。」「みんなつながって、交流や支え合い活動の担い手になろう。」の3項目です。現在、地域で支え合う活動やつながりができました。今後も継続的に続けていく必要があるため、担い手についても計画の中で取り組むこととなっています。現在進行形ですので、地域のつながる活動を広めていきたいと思い、啓発のためにこの懇談会も利用させてもらっています。（民生部長）

関連質問）6年計画の2年目ですが、あまり感じる事ができません。（高根台）

答）計画を進めるに当たり、5月12日（木）に今年度の第1回目の会議を、日本福祉大学の原田教授も参加して開催しました。進捗状況を調査していくことに決定したため、今後定期的で開催し、その都度発表させていただきたいと考えています。（副町長）

②ゴミの減量化について

配布資料に基づき建設環境課長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（１）燃えるゴミの量は季節的要因があると思います。この時期は雑草が結構出るためゴミが増えます。最近ゴミゼロの時に草刈りをしてもすぐに回収せず、少し置いて乾燥させてから回収しています。雑草もある期間家庭に置いておけば、少なくできると思います。（高根台）

答）その通りです。この時期は特に雑草が多く、抜いたからすぐ捨てたいというお気持ちは分かりますが、１週間から１カ月ぐらい乾燥させていただけると、小さく軽くなり、さらに、燃えやすくなるためご協力をお願いします。（建設環境課長）

質問（２）最近、ゴミの減量について広報に掲載されていますが、今のような具体的な内容を掲載してはどうでしょうか。また、生ゴミ処理機の効果や町内の導入状況などを広報に掲載し、啓発していけば取り入れる家庭も増えると思うので検討してください。（高根台）

答）処理機の補助に対する実績は、平成２５年度１４件、平成２６年度１０件、平成２７年度１件となっています。ショッピングセンターなどでＰＲしたときは多くなるため、今後広報などで積極的に啓発していきたいと思います。（建設環境課長）

阿久比町では、年間１８，０００袋のアスパを作ってもらっていますが、全て無くなっています。処理機の導入が少ないという話でしたが、私の家でも全てアスパで処理し、生ゴミは出していません。これだけの数が出ていれば、他市町よりゴミが少なくてもいいと思いますが、現実とは違うため今回のテーマとさせてもらいました。（町長）

質問（３）いろいろな対策をとって減量化していくことは大変重要なことだと思います。何年計画ぐらいで目標値を持っているのですか。（板山）

答）計画ではありませんが、今年度担当部署で考えている減量化目標は、マイナス２％で５２５グラムです。（建設環境課長）

新しい炉になると、東部知多クリーンセンターの処理能力は、１日２４０トンから２００トンに下がります。人口減少もありますが、この量まで下げないと炉の処理能力を超えてしまうため、ここを目標にしたいと考えています。初めのきっかけとしてマイナス２％と言っていますが、最終的には一桁違うと思います。そのため昨年から広報にゴミのページを設けさせていただきました。町として真剣に取り組んでいきたいと考えています。（町長）

関連質問）ゴミ袋を値上げした市町があるためか、ゴミステーションに地区外の人が捨てている光景を見たことがあります。町民ならまだ許せますが、他市町の人が阿久比町のゴミ袋が安いからといって捨てていくことがあるのではないのでしょうか。パトロールなどを実施してはどうですか。（板山）

答）パトロールやゴミの調査を行いたいと思いますので、情報提供をお願いします。（建設環境課長）

資源ゴミの報奨金制度についてお願いします。この制度は、町を經由して資源ゴミを業者に売却し、売却額と同額を地区に渡し、さらに報奨金を上乘せするものです。地区の運営費となるため、この制度を地区の皆さんに周知・啓発していただきたいと思ひます。

またゴミ袋の値上げについては、常滑市のように単独で実施してしまうと問題が起こります。少なくとも東部知多衛生組合の2市2町は、広域で値上げする必要があります。現在、大府市から新しい炉ができた際は値上げしたいとの意見が出ています。町民に負担をかけることはやめたいと思ひていますが、不法投棄の問題もあります。炉の完成が平成31年4月であるため、平成30年頃にはある程度の方向性を出さないといけないと思ひています。（町長）

関連質問) 板山は自然豊かなので不法投棄が大変多かったです。最近の不法投棄の件数は分かりますか。（板山）

答) 不法投棄を監視するため職員一人を当ててパトロールしています。件数については、現在資料を持ち合わせていないので後日回答させていただきます。（建設環境課長）

質問(4) 2~3年前に転入し、今初めてアスパのことを知りました。陽なたの丘など若い世代は知らない人が多いと思ひるので、再度PRしていただければ利用したいと思ひます。（福住園高台）

答) PRに努めていきます。何かご不明な点がありましたら建設環境課へお問い合わせください。（建設環境課長）

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問(1) 維持補修の件について、昨年度各地区から何件出されていて、何件完了したか教えてください。

また、昨年度の未来づくり懇談会で、平成26年度の区長が要望したところ、停止補助線をすぐ引いてくれるとの回答でしたが、いまだに行われていません。先ほど議事録が残っているという話でしたが、昨年度地区から出した維持補修について、まだ完了していないものは今年度にきちんと申し送りされているのでしょうか。（福住）

答) 現在資料を持ち合わせていないので後日回答させていただきます。（建設環境課長）

関連質問) 昨年度要望書を提出したものは、今年度も同じことを書いて再度提出しなくてはならないのですか。（福住）

答) 昨年度提出していただいたものは出さなくて結構です。(建設環境課長)

質問(2) 巨大地震を危惧しています。防災マップに避難場所と避難所が掲載されており、福住園高台は東公園が避難場所となっています。避難場所は、避難所へ避難するための一時集合場所という認識でいいのですか。また、高齢者を避難所であるふれあいの森へ運ぶことは大変です。東公園にある集会所を、自力で動けない人のための避難場所として活用することは可能でしょうか。(福住園高台)

答) 援護が必要な方の名簿は、自主防災会と民生委員に渡してあります。今年の防災訓練では、要援護者の避難についての再確認や情報共有をしていただくための訓練を考えています。避難場所や避難所は町が指定していますが、発災時に町が指定したところまで来るというのは無理だと思います。そのため、事前に自主防災会で地区の皆さんが最初に避難する場所を検討していただきたいと考えています。(総務部長)

関連質問) 民生委員や自主防災会で要支援者を把握しているということですが、個人情報の問題があり家族構成が分からないため、本当に支援が必要な方なのか、ご家族が手助けして要援護者を避難させることができるのかが不明です。自主防災会で把握してくださいと言われましたが、各家庭を全部回らなくては情報を集めることができません。町にはさまざまな情報があると思いますので、情報をリンクさせ、誰を最優先に援助しなくてはいけないのか整理してください。(福住園高台)

答) 要援護者名簿には、本人の了解をとって登録しています。名簿に載る条件としては、独居老人・高齢者世帯・障がい者の方に、町が案内して登録してもらっています。家族構成ですが、障がい者の方については家族構成が分かりませんが、高齢者については独居または高齢者のみの世帯であるため、優先的に支援していただきたいと思います。先ほど言われたとおり、介護や障がいの状況というのは、個人情報ですのでお示しすることができません。しかし、昨年個人情報の取り扱いについて改正があり、災害時には町から情報を提供することが可能となりました。今年の防災訓練で、支援が必要な方がどこにいるのか情報共有していただきたいと考えています。(総務部長)

質問(3) 板山は、陽なたの丘ができてから、かなり頻繁に通り返りの車が往来しています。前区長からの要望で、町が退避路を作ってくれるとのことでしたが、道幅が狭いため、歩行者や、もともと生活道として捉えておられる地区の方から、「安全に車の往来等ができるように」との要望もあるため検討してください。(板山)

答) 昨年度、地区の方に紹介していただき、今年度に繰り越されていますが用地買収を進めています。地主が町外の方なので連絡がつきにくく時間がかかっていますが、早期に交渉をまとめ、工事を進めていきたいと考えています。(建設環境課長)

町全体に言えることですが、道が狭いです。名古屋市の場合、狭いところは一方通行に

しています。地区の同意が得られれば、町道であれば公安委員会と協議して一方通行にすることも可能です。町内では椋岡地区で1カ所行いました。しかし、一方通行にしてしまうと住民の方が不便となるため、同意を得ることが難しいと思います。現在町が進めているのは、すり替わりができる待避所を確保することです。本来であれば4メートル道路にしていきたいと思いますが、狭あい道路の補助制度があってもなかなか進みません。とにかく事故の無いようにしていきたいと考えています。(町長)

質問(4) 高根台だけではないと思いますが、町境では隣接市町にある放水設備の方が近い場合があります。隣接市町と震災が起きた時の対応として共同戦線を張るという話がありますか。先ほど南海トラフの話がされましたが、危険があると感じたなら隣接市町と共同戦線を張ることも検討の中に入れておかないといけないと思います。(高根台)

答) 水道関係ではある程度東浦町と話はできていますが、災害時には超法規的な対応ができるように隣接市町と話をしていきたいと思っています。阿久比町の中でも特に高根台が一番まちとしてつながっているので、特に東浦町長と話を進められるよう努力していきます。(町長)

関連意見) 今後自治会の話にもつながっていくと思います。(高根台)

5. 閉会あいさつ

本日は、大変お疲れ様でした。今年から方法を変えて、テーマを決めての懇談会を実施させていただきました。今回の2件のテーマは、一番身近で大事な事業ですが、実施するにはいろいろな面で難しい事業です。特に高齢者と地域とのつながりについてのテーマは、どのようにしたら地域において福祉事業ができるのかを、これからも行政と地区とで連絡を密にして、地域の福祉事業向上に努めていきたいと考えています。

以上で平成28年度未来づくり懇談会を終了します。(副町長)